

経営比較分析表（令和2年度決算）

群馬県 前橋市

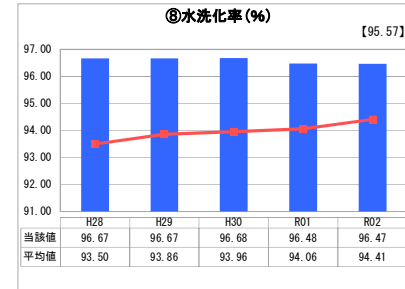
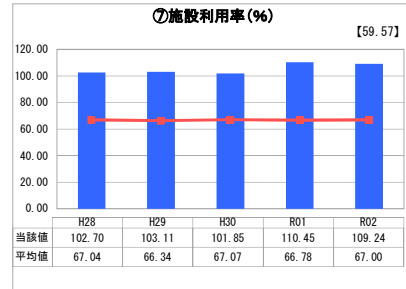
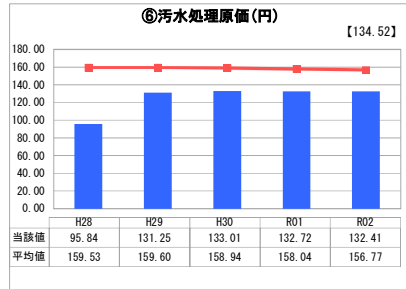
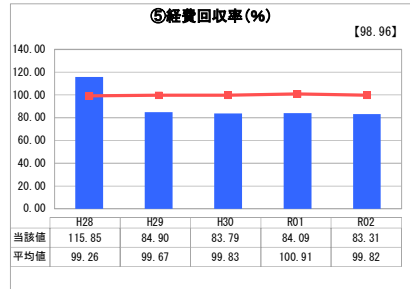
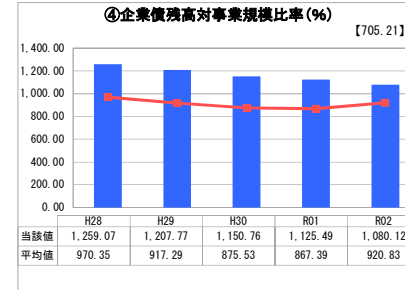
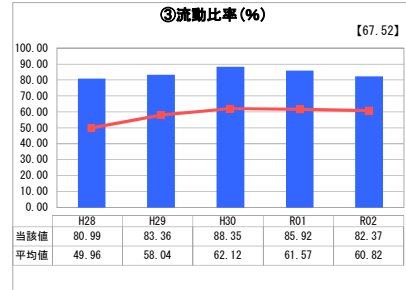
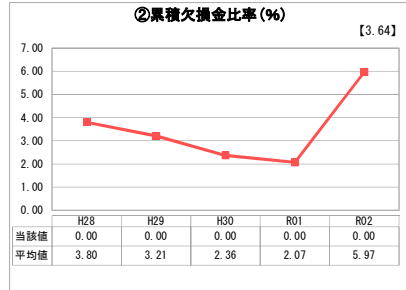
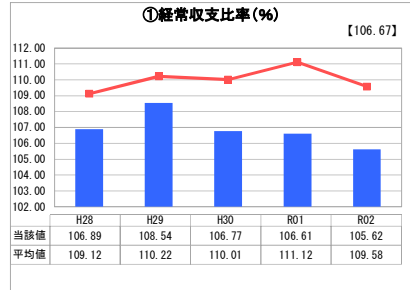
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ad	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	59.86	71.26	87.18	2,156

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
335,055	311.59	1,075.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
238,404	61.99	3,845.85

グラフ凡例

- 当該団体の値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

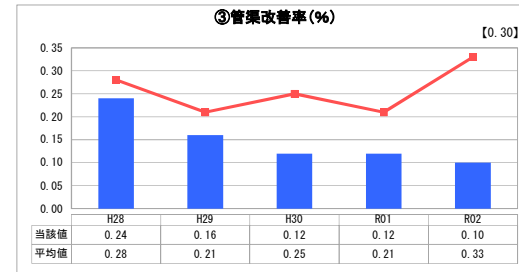
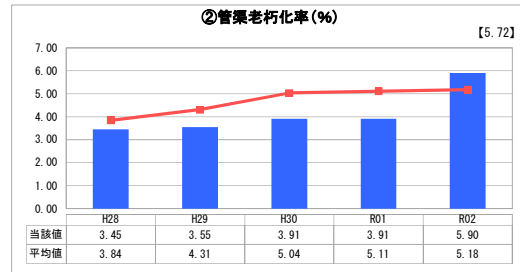
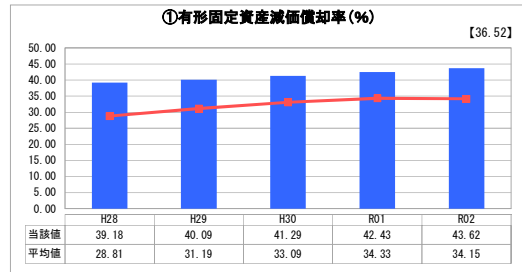
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%を上回っているが、類似団体平均を下回っているため、引き続き収益の確保、費用の縮減に努め、さらなる改善を図る。
 ② 累積欠損金比率は、H28から0%を維持しており、引き続き収益の確保、費用の縮減に努める。
 ③ 流動比率は、100%を下回っていることから改善が必要である。引き続き収益の確保、費用の縮減に努めるとともに、事業規模に見合った借入を行い支払能力の改善に努める。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を上回っている。事業規模に見合った借入を行っており、直ちに借入を減らす必要はないものの、引き続き収益の確保、事業規模に見合った借入に努める。
 ⑤ 経費回収率は、H29から100%を下回っており、さらに収益の確保、費用の縮減に努める必要がある。
 ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均を下回っているが、増加傾向にあることから、費用の縮減に努める。
 ⑦ 施設利用率は、H28から100%超の利用率となり、類似団体平均を上回っている。施設の老朽化が進んでいるため、計画的な施設の更新が必要である。
 ⑧ 水洗化率はH30から微減しており、類似団体平均を上回っているが、100%を下回っている。引き続き整備、啓発を進め水洗化率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、年々上昇しており、類似団体平均を上回っている。管渠老朽化率と管渠改善率の状況も踏まえ、財政計画やストックマネジメント計画に基づき、施設の改築・更新に努める。
 ② 管渠老朽化率は、年々上昇しており、類似団体平均を上回っている。ストックマネジメント計画に基づき調査を行い、老朽化の進んだ管渠の改築・更新に努める。
 ③ 管渠改善率は、すべての管を更新するのに50年かかるペースである2%に達しておらず、類似団体平均を下回っている。法定耐用年数を経過した管渠延長が年々上昇している中、財政計画やストックマネジメント計画に基づき調査を実施し、老朽化の進んだ管渠を優先的に改築・更新していく。

2. 老朽化の状況



全体総括

・ 経営の健全性については、経費回収率がH28以降悪化しており、流動比率は100%を下回っていることから、支払能力を高めるための経営改善に努める必要がある。
 ・ 経営の効率性については、類似団体との比較では効率的な経営がなされている。引き続き、収益の確保、費用の縮減に努め、さらに経営の健全性・効率性を高める。
 ・ 老朽化の状況については、管渠の改築・更新を進めているが、法定耐用年数を経過した管渠延長が年々上昇しているなか、管渠改善率はすべての管を更新するのに50年かかるペースである2%にはほど遠い。ストックマネジメント計画に基づき、引き続き調査を実施し、少しでも老朽化の改善につながるよう、老朽化の進んだ管渠を優先的に改築・更新していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。